

専門研修プログラム名	信州大学医学部附属病院	専門研修プログラム
基幹施設名	信州大学医学部附属病院	
プログラム統括責任者	鷲塚 伸介	

専門研修プログラムの概要	本プログラムは基幹施設である信州大学医学部附属病院精神科と、県内外の連携病院で構成されている。地域における総合病院の役割、単科精神科病院の役割を実感しながら、本プログラムに則って研修を行うことにより幅広く精神科医としての経験を深めていくことが出来るプログラムとなっている。長野県という地域特性を存分に生かしつつ、国際標準の診断、治療の技を身につけるだけでなく、さらに一人の人間の機微にふれながら、そのこころを多面的複合的に捉えることができることを当プログラムの目標としている。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	基幹病院である信州大学医学部附属病院精神科では、基本的な面接技法、診断と治療、児童思春期症例、リエゾン・コンサルテーション、サイコオンコロジー、電気けいれん療法等について学ぶ。学会発表、論文作成等の研究活動についても学ぶ。月2回火曜日夕方に行われる症例検討会は、県内の関係者は自由に参加することが出来、連携施設に所属している専攻医も症例を提示し、より広い見識を積む良い機会となっている。研修の2年目は総合病院、3年目は単科病院を基本としているが、専攻医の人数や希望によりアレンジは可能である。児童思春期や連携大学院に主眼を置いたコースも設置している。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	1年目は基幹病院にて、面接技能、疾患理解、診断と治療にかかわる基礎的な知識と技能の取得を目指す。二年目以降では関連病院において外来治療や入院治療にあたり、地域精神医療・保険・福祉との協働やリエゾンコンサルテーション、精神科救急等の経験を積む。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	1年目は基幹病院にて、カンファレンスでの発表や討論の経験を積み、自己研鑽の姿勢の涵養の期間とする。
	学問的姿勢	研鑽の成果として、主に二年目以降に地方会や学会総会など社会に向けて発信する経験を重ねる。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	患者の主治医としてよい関係を築き、精神医学的兆候を緻密に拾い上げ、最適な治療を実施するまでを学ぶことになるが、精神医学の多様性、奥深さを感じ取れる姿勢の習得が目標であることを強調したい。アルコール、薬物依存症の症例も学ぶことができる。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	1年目に基幹病院で基礎を学び、2年目、3年目は総合病院での研修を受けることを基本としているが、年次ごとの専攻医の数によりローテートの順序や年数を変更することがある。
	研修施設群と研修プログラム	信州大学医学部附属病院を基幹病院とし、合計20という多数の連携病院から構成されている。
	地域医療について	長野県は面積が広く、精神科医療圏は北信、中信、東信、南信の4エリアごとに集積する傾向がある。各地区・各病院の特性を踏まえつつ地域を越えての連携についても学ぶ。

専門研修の評価	各研修施設において研修ガイドラインに則って3年以上の研修を行ったのち、専攻医と指導医がそれぞれ入力する研修項目表による評価と、多職種による評価、経験症例数リストを確認する。	
修了判定	修了判定は到達目標が達成できているかどうかを評価することで行われる。研修プログラム統括責任者により受験資格が認められたことをもって修了とする。	
専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	研修プログラム統括責任者、研修基幹施設ならびに研修連携施設の研修指導責任者、研修施設管理者、研修指導医、研修に関連する多職種で構成され、専攻医および研修プログラム全般の管理と継続的改良を行う。
	専攻医の就業環境	過重な業務にならないように休日を保証し、当直業務等に対しては適切な対価が支給されるよう整える。また、夜間診療業務に対して適切なバックアップ体制を整える。
	専門研修プログラムの改善	研修基幹施設と各研修連携施設は、研修指導医と多職種などの協力により定期的に専攻医の評価を行う。また専攻医による研修指導医・指導体制に対する評価も行う。これらの双方向の評価を研修プログラム管理委員会で検討しプログラムの改善を行う。
	専攻医の採用と修了	基本的な採用条件（日本国の医師免許を有する、初期研修を修了している）を満たすもので、統括責任者の面接を経たものを採用としている。修了は上記修了判定方法に従う。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	特定の理由により、専門研修の中断・他プログラムへの移動・プログラム外研修が必要となった場合は、所定の申請を行うことで対応可能である。
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	研修管理委員会には医師だけでなく、看護師・心理士・精神保健福祉士も構成委員として登録されている。日本精神神経学会によるサイトビジットを受けたり調査に応じることもありうる。
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。 主な情報として医師名、所属、 役職を記述してください。	所属はすべて精神科：鷲塚伸介(教授)、篠山大明(准教授)、萩原徹也(助教)、中村敏範(助教)、白石健(助教)、飯沢美文(助教)、横塚紗永子(助教)、荒井勇輔(助教)	
Subspecialty領域との連続性	当院には子どものこころ診療部があり、とりわけ児童精神科に関しては専門医研修との連続性において特筆すべき点と言える。	